

中国天津で確認されたロシアレナデルタで 標識したコハクチョウ(首輪標識赤 226C)

神谷 要

(財)中海水鳥国際交流基金財団, 683-0855 米子市彦名新田 665

コハクチョウ (*Cygnus columbianus*) は北極海沿岸部で繁殖し、ロシアのタイミール半島を境に西の個体群はヨーロッパ、東の個体群はアジアで越冬するといわれている。しかしながら、ロシア極東のコハクチョウの繁殖地における首輪標識の調査は、チャウン湾において行われたのみであった (Kondratiev 1894)。そこで、1999年よりウラジミール・ポズドニャコフ博士 (レナ・ノルデンスキオルド生物学研究所) が、レナデルタにおいて首輪標識によるコハクチョウの渡り調査を始めた (Pozudnyakov 2001)。この調査において、すでに中国ポーヤン湖への移動が報告されている (Jian-Dong 2002、ポツドニャコフ 2003)。今回、新たに中国天津市の北大港ダム保護区で首輪226C (赤・白文字) が見つかったとの連絡をもらった。このコハクチョウは、私どもが協力して2001年にレナデルタで標識したコハクチョウ5羽のうち1羽である (神谷・ポズドニャ

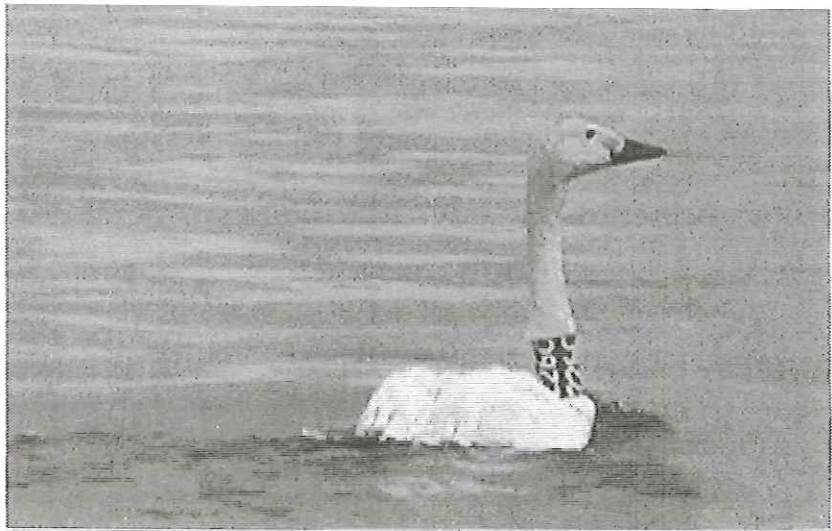


図1. レナデルタで放鳥時の226C (2001年8月14日)

Kaname KAMIYA, A report of marked tundra swan (*Cygnus columbianus*) born in Beidagang Wetland Natural Reserve, Lena Delta, Russia, in Tinjing, China.

コフ 2002)。標識時(2001年8月14日)にこの鳥は雌の成鳥で、ペアーと思われるコハクチョウ1羽と一緒に行動していた。捕獲時は換羽期にあたり、飛翔することができなかつた。この移動は、3800kmである。

放鳥地 ロシア連邦サハ共和国レナデルタ自然保護区 Lena Delta, Caxa, Russia
73° 10' 49.6"N 126° 16' 45.6" E

放鳥日 2001年8月14日

標識者 ウラジミール・ポズドニャコフ(レナ・ノルデンスキオルド生物学研究所)
神谷 要(中海水鳥国際交流基金財団)

標識時の状況 換羽期で飛ぶことができず、つがい相手と川を泳いでいた

観察地 中華市人民共和国天津市北大港ダム保護区 Beidagang Wetland Natural Reserve, Tijing, China

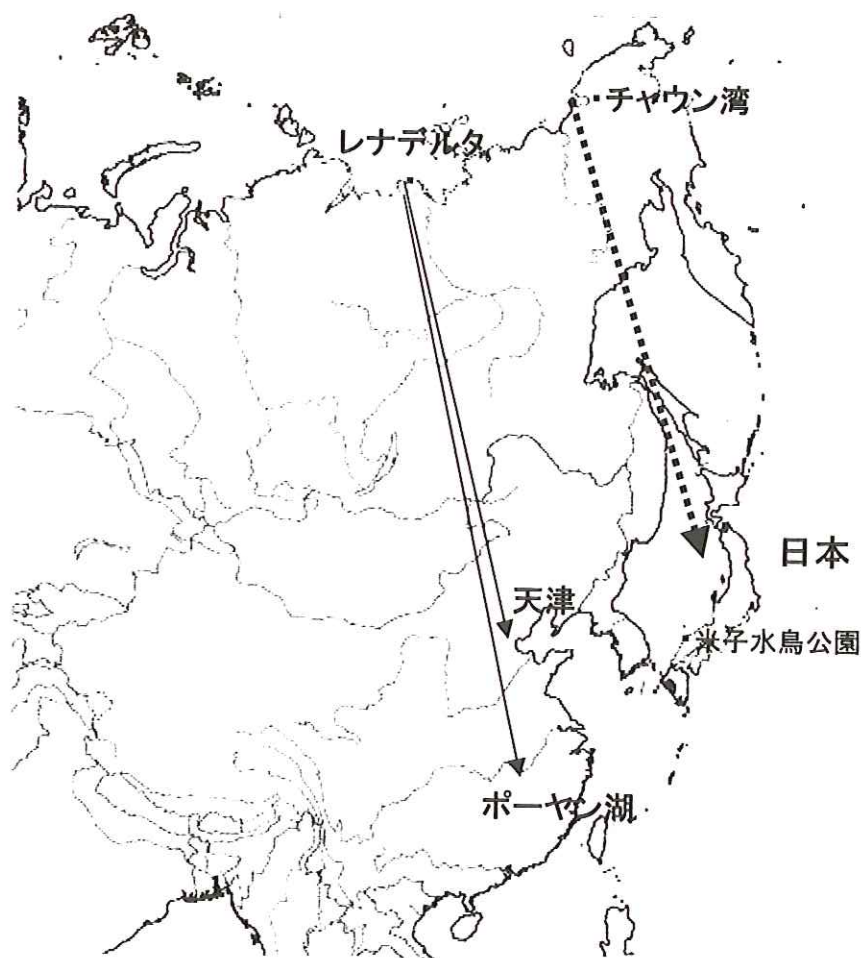


図2. ロシア極東におけるコハクチョウの繁殖地と越冬地の関係。

38° 44' 10.43"N 117° 27' 10.01"E

観察年月日 2007年3月24日

観察者 Fang Tian, Zhang Lian and Chen Sihang, Beijing Normal University(北京師範大学)

観察時の状況 700羽のコハクチョウの群れの中にいた

引用文献

Kondratiev, A. Ya., 1984. The migrations of *Cygnus bewickii* and their wintering in Japan. Zool.Zhur. 63:1835-1847.

Pozudnyakov, V. I., 2001. Lena Delta. Anet Newsletter 2:5-6.

(<http://www.jawgp.org/anet/anl002cj.htm>)

ホツドニャコフ V. I., 2003. ヤクートにおけるコハクチョウ調査と保護の諸問題. 日本の白鳥 27:76-78.

神谷要・ポツドニャコフ V. I., 2002. 米子水鳥公園とレナデルタの国際交流とコハクチョウへの首環標識. 日本の白鳥 26:10-19.

Jian-Dong, 2002. Ringed tundra swan was found at Saichend Lake, Jiujiang County. Poyang Lake Nature Reserve. Carne News 6(1):38.